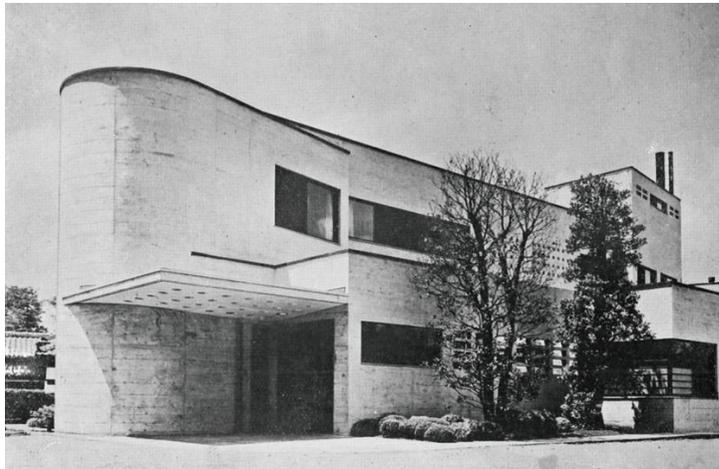


History 旧赤星鉄馬邸



アントニン・レーモンド作品集 1920-1938 城南書院 1935年

旧赤星鉄馬邸は、実業家・赤星鉄馬の邸宅として昭和9（1934）年に建てられました。設計は、日本モダニズム建築の先駆者、アントニン・レーモンドです。鉄筋コンクリート造で外壁をコンクリート打ち放し仕上げにしており、まわり階段の曲線と縦長窓が外観にも現れていることは、当時では世界でも最先端なデザインでした。

建物の完成後、第二次世界大戦中の昭和19（1944）年に陸軍により接収され、戦後はGHQに接収されています。その後、昭和31年（1956）年からカトリック・ナミュール・ノートルダム修道女会が長らくシスターを養成する修道女会として所有・使用していました。令和3年2月より市が建物の寄贈を受け※、現在、旧赤星鉄馬邸の保存と緑豊かな庭との一体的な利活用を検討しており、改修工事などを行いながら令和10年度末のオープンを目指しています。

※土地は武蔵野市土地開発公社が先行的に購入しており、今後市が買い戻しをする予定です。



目で見ると80年のあゆみ
ナミュール・ノートルダム修道女会日本管区 2004年

旧赤星鉄馬邸 オープンガーデン

magazine vol.3

充実の企画と建物見学。

大満足の1週間に迫ります。



Access 武蔵野市吉祥寺本町 4-26-21



市公式 Instagram も
チェック！企画の詳細などを
随時発信中！
【@kyuakaboshitei】



YouTube「武蔵野市
動画チャンネル」に
当日の様子を公開
中。ぜひご覧ください！



旧赤星鉄馬邸オープンガーデン開催まで

●利活用のアイデアを実践・検証！

本格オープンを目指して、良好な住環境にある旧赤星邸で何ができるのか、どのような運営がよいかを探るために「未来へつなぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」を令和5年度から2か年かけて行いました。令和5年度は市民ワークショップで出た意見や利活用アイデアをもとに、自ら企画・運営を行う24名のスタッフにより『niwa*Project』（ニワボシプロジェクト）を立ち上げ、旧赤星邸を使った実践と検証をしました。



●自分に合った関わり方ができる旧赤星邸

令和6年度は「旧赤星鉄馬邸オープンガーデン」の名称で、旧赤星邸の一般公開と同時に、庭と建物を実験的に活用するイベントを1週間開催しました。令和5年度に引き続き企画・運営を行うスタッフのほか、事業者・団体からの参加も可能にすることで、様々な立場に関わることができるように工夫しました。

旧赤星鉄馬邸実験的活用ガイドライン

令和5年度の『niwa*Project』の結果を整理して、旧赤星邸の使い方や注意点などをまとめました。

武蔵野市在住 企画運営スタッフ 6名

▼オープンガーデン開催に至る経緯（企画運営スタッフ）

8/4 企画会議 #1

8/27 企画会議 #2

9/20 企画会議 #3

武蔵野市で活動する 市民団体・グループ 7団体

武蔵野市内外 事業者（営利活動） 10者

▼オープンガーデン開催に至る経緯（事業者及び団体・グループ）

1次締切	全体調整	告知	最終調整
書類審査 現場確認・打合せ 提案内容の調整	スケジュールと 実施場所の仮決め	オープンガーデン 概要告知	貸出備品や搬入 車両などの調整、 当日の運営計画 を共有
2次締切		提案内容の調整、 スケジュール確定	

旧赤星鉄馬邸オープンガーデン

R6.10/24木-30水



旧赤星邸オープンガーデンは建物だけでなく、庭園も一体的に活用することで魅力を存分に感じてもらえるように工夫しました。



ミニコラム | お庭体験を快適にするアイテム

ふわふわ！エアクッション

ガーデニングチェアでおしゃべり！

ゆるゆるハンモック！

庭園内には、ソト時間を快適にするアイテムを設置！ハンモックでくつろぐ、エアクッションにダイブ、椅子とテーブルでひと休み…使い方は自由。大テーブルのあるコワーキングスペースでワーケーションする人も！お気に入りのアイテムは見つかりましたか？

コワーキングスペースでソト活！

7日間の様子をプレイバック！



DAY1
24 Thu.
OCTOBER

穏やかな1日目

初日は緩やかにスタートしました。お庭で本を読みながらくつろぐ姿や、ちょっと休憩にきたファミリーなど旧礼拝棟では音楽の演奏がありました。



DAY3
26 Sat.
OCTOBER

DAY2
25 Fri.
OCTOBER



赤星邸を彩る様々なコンテンツ

書道やシールアート、リース作りのWSなどアートに関するコンテンツで賑わう3日目。外が暗くなる頃には、庭園にライトが点灯し、一味違う雰囲気。旧赤星邸の壁面に巨大アートを映し出すプロジェクションマッピングも大好評でした。



美味しい&楽しい2日目

2日目は、庭園での活動が盛りだくさんでした。ぐーぐーらいぶさんの絵本の販売とお話会では子供達が庭に集まり、楽しい昼下がり。飲食コンテンツも充実していました。



揚げたてサクサクの春巻きは、リピーター続出

季節限定いちじくパフェは大人気。夜にはコースディナーも



DAY4

27 Sun.

OCTOBER

最も来場者が
多かった日曜

市民スタッフの企画として、球根チームが庭園でチューリップ植えのWSを開催し、音楽チームが居間で弾き語りライブを実施しました。

さらに、野草販売やマーケット、建築ツアーなど多彩な企画で終日賑わいました。



植えた球根が春に咲きますように...



R5年度の市民企画チームがR6年度に団体として再結成
お手製パネルや旧赤星邸ポストカードは大人気でした。

居間では弾き語りの演奏が行われ、素敵な歌声が旧赤星邸に響きました。



ブックマルシェの出店で、庭園が本を読みながらゆっくり過ごせる場所になりました！



DAY5

28 Mon.

OCTOBER

限定公開で
じっくり思考

登録有形文化財としての価値を守るためにどう使っていきべきか、建物と庭を見学しながらその使い方を考える1日。建物内にはレーモンド事務所が手掛けた設計当時の模型が展示され、美しさと機能美をじっくりと堪能することができました。



旧聖堂を、地域の場として使ってみる

吉祥寺本町の住民によって構成された市民コーラス「本町コーラスはなみずき」の歌声を聞きに、旧聖堂にはたくさんの人々が集まりました。

DAY6

29 Tue.

OCTOBER

和やかな最終日

オープンガーデン最終日には、コタ珈琲さんが庭園に出店しました。心地よい屋外空間で、淹れたての一杯を楽しみながら穏やかな時間を過ごすひととき。庭園の新たな使い方や、日常に寄り添うその魅力を改めて感じる1日となりました。



DAY7

30 Wed.

OCTOBER

／こんやにたくさん！／

1週間を彩った様々な出展者の皆さん

企画運営スタッフ

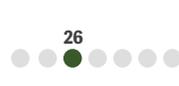
■テントでシールアート

模造紙を1週間掲示し
参加者がシールを貼って最終日に完成するアート！



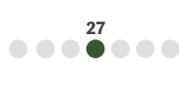
■ほっこりカレンダー作り

書道を取り入れた
カレンダーを作るワークショップ



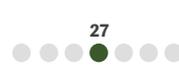
■球根ワークショップ

～みんなでチューリップを植えて春を待ちましょう！～
庭園の花壇に球根を植えるワークショップ



■旧赤星邸フリーライブ

居間でシンガーソングライターによる弾語りライブ



■本町コーラスはなみずき

吉祥寺本町の住民によって構成された市民コーラス



事業者・市民団体・グループ

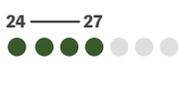
■衣服は感情 (Mergen Design Office)

近隣市で生地企画、衣服デザイン、
縫製製造などを行う Mergen の衣服の展示



■書籍移動販売 (Yummybooks (bookle book-car-go))

移動販売書店を行う Yummybooks による書籍の販売



■WAZA WAZA MARKET2024 (果実店 canvas)

昼の限定パフェと展示、夜のハロウィンディナー



■The Sound Heritage of Notre-Dame de Namur

ノートルダム修道会の音遺産 ～シターと歌う聖母への祈り～
(武蔵野啓明会) シターとソプラノによるコンサート



■オリジナル合唱曲ミニコンサート (KI+chorus)

シンガーソングライター「ゆいこ」による
オリジナル合唱曲のミニコンサート



全日程の集合写真



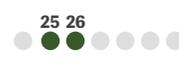
■野菜の春巻きとドリンク (惣菜スタンド Soil)

武蔵野市の野菜を使った春巻きとドリンクを提供



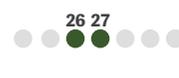
■絵本販売とおはなし会・邸宅バッグワークショップ (NPO 法人ぐーぐーらいぶ)

絵本の古本販売やおはなし会、ワークショップなど



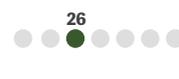
■秋星プロジェクト (Fumie Ito Matters & Geoff Matters)

子ども達が描いた絵でハロウィンと秋の世界を表現した
作品を赤星邸の壁にプロジェクションマッピング



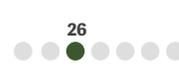
■木の実のワークショップ (木の实サークルアン)

庭園や武蔵野周辺の木の実を使った
リースやスワッグ作り



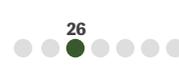
■センサーボトル作り (おさんぼリトミック)

五感を使った、癒しのオリジナルボトルを作成



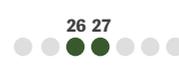
■読書会『置かれた場所で咲きなさい』

Sr. 渡辺和子のお言葉より (ノートルダム清心女子大学同窓会東京支部)
渡辺和子シスターの著書を用いた読書会



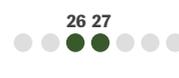
■旧赤星邸写真館 (写真館研究所 | ハレノヒ)

旧赤星邸で家族写真を撮影



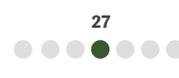
■エチオピアの野生の珈琲 (BrightKitchens')

「アンドロメダエチオピアコーヒー」を
ハンドドリップで提供



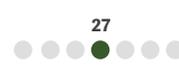
■旧赤星鉄馬邸7ふしぎ発見ツアー (建築★たんてい団)

旧赤星邸の建築に込められた謎を解き明かす建物ツアー



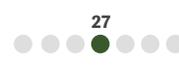
■山をなす (山ト波)

建物内ではブックマルシェ、
庭園では雑貨や飲食の販売・音楽ライブなど



■武蔵野の野草販売

庭園で野の花や野草を販売



■自家焙煎コーヒー豆 (コタ珈琲)

新鮮なコーヒー豆と淹れたてのコーヒーを販売

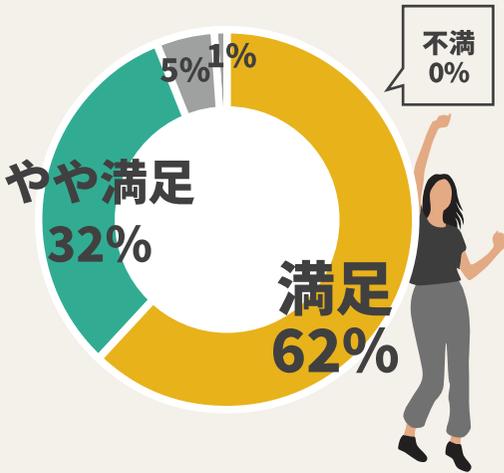


効果検証

旧赤星鉄馬邸のオープンガーデン開催時は、来場者にアンケート調査を実施し、効果検証を行いました。（より詳細な結果については、武蔵野市HPにて公開しています。）

来場者満足度 94% !

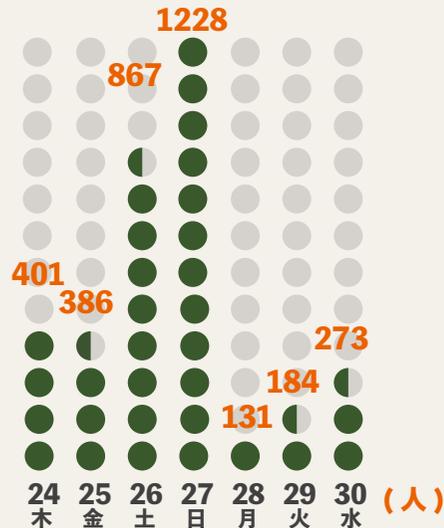
回答者の 94%が「満足」または「やや満足」と回答しました。昨年 2 月に実施した社会実験と比較すると 1 ポイントの上昇が見られました。



サンプル数：294

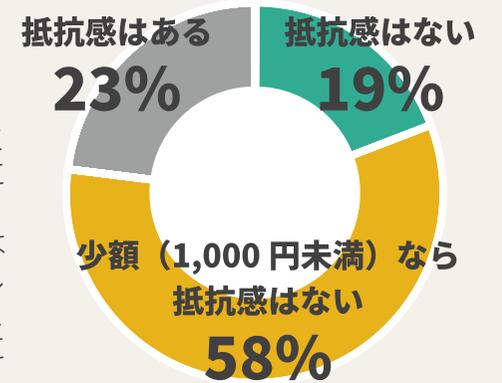
7日間 合計入場者数 3,470人!!

最も来場者が多かったのは、日曜日で、1,228人が来場しました。一方で最も少なかったのは月曜日で、131人でした。



本格運用に向けて・・・建物の入場料は取るべき？

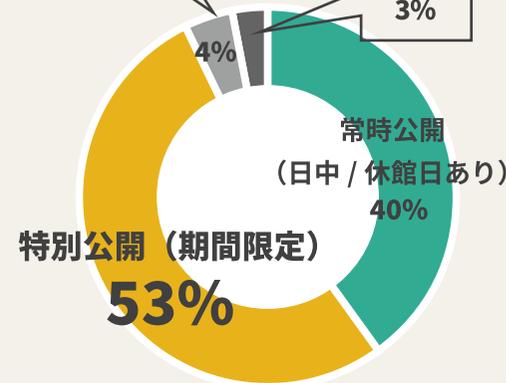
旧赤星邸の改修を行うことを前提とし、本格運用する際の建物入場料について質問しました。「少額（1,000円未満）なら抵抗感はない」が58%と最も多く回答しました。「抵抗感はない」を含めると、77%が入場料を少額徴収した場合に抵抗感はないと回答しています。



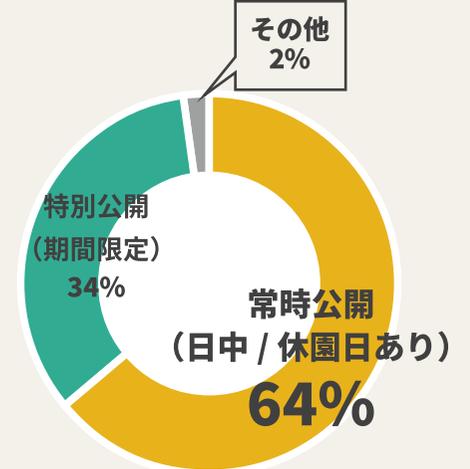
サンプル数：292

建物は期間限定 or 常時公開 庭園は常時開放がいい！

建物の中に入れなくても外から見ることであれば良い



サンプル数：293

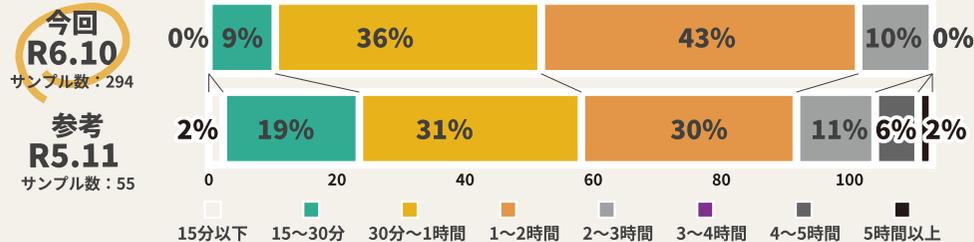


サンプル数：292

本格運用する際の建物（旧赤星鉄馬邸）の公開方法については、「特別公開（期間限定）」が53%と最も多い結果となりました。一方、庭園の公開方法については、「常時公開（日中。休園日あり）」が64%で最も多く、庭は気軽に立ち寄れる空間としての需要が高いことがわかりました。

滞留時間、昨年度より増加

オープンガーデンの滞留時間は、「1～2時間」が43%で最も多く、次いで「30分～1時間」が36%となりました。令和5年度11月社会実験と比較すると30分～2時間程度の滞在時間の増加が見られました。



2年間にわたる「未来へつなぐ旧赤星邸と庭園プロジェクト」で、文化財の見学にとどまらない建物と庭園を一体的に活用した幅広い取り組みを実践することができ、高い満足度が得られました。また、これらの幅広い取り組みを市民・団体・事業者が様々な立場に関わりながら、企画・実践する運営方法が可能であることも検証できました。本格開設に向けて、今後も運営方法の検討を行っていきます。

より詳細な結果はこちら

